

放課後子供教室の取組事例

事例 2

連雀学園三鷹市立第四小学校地域子どもクラブ  
「四小きらめきクラブ」 「こども理科教室」

(1)「四小きらめきクラブ」について

ア 概要

「四小きらめきクラブ」は、平成12年度に立ち上がり、地域の方々からいろいろな学習・体験の機会(クラブ活動)を子供たちに提供しています。現在、「四小きらめきクラブ」は、NPO法人「夢育支援ネットワーク」のスタッフから成る「四小地域子どもクラブ実施委員会」に運営委託されています。NPO法人「夢育支援ネットワーク」は、平成15年度に第四小学校の学習支援ボランティアが設立し、学校の授業、職場体験のサポートの他、「四小きらめきクラブ」の運営及びクラブ活動の指導を担っています。

平成25年度の年間開催日は、221日(平日174日、土曜日・日曜日47日、長期休業0日)、参加人数の平均は平日30人、土曜日・日曜日30人です。

子どものきらめきクラブ(地域子どもクラブ事業登録クラブ)

マーク	クラブ名	種類	内容	対象学年	人数	活動日	活動場所	活動費	事前申込
	はんぐるクラブ	韓国語	ハングルの歌や踊りを通して、韓国の言葉や文化にふれます	2~6年	20人	月曜日 (月2回)	視聴覚室		○
	ピーシー開放	コンピュータ	大人も子供も自由にパソコンに触れる事ができます	2~6年	20人	水曜日	PCルーム		申込不要
	アップル組	おはなし会	毎回、いろいろな楽しいおはなしを話しています。	全年齢	制限なし	月1回 (お便りでお知らせします)	図書室		申込不要
	吹奏楽クラブ	吹奏楽	楽器が好きな子！集まれ！皆で合奏を楽しみましょう！	4~6年	制限なし	水曜日	音楽室		直接申込
	子どものためのしらすサロン	コーラス	歌と踊りの好きな子集まれ！	3~6年	制限なし	金曜日 (発表間近臨時練習あり)	視聴覚室		○
	書道クラブ	書道	筆に慣れ、大きな字を書くことを楽しみます	3~4年 (5・6年可)	20人	月曜日	算数教室		○
	いけばなクラブ	華道	いけばなは中央昇降口を華やかに彩っています。	全年齢	制限なし	水曜日 (各学年月一回)	家庭科室	必要に応じ材料費	○
	アニメシオン	読書	絵本や本の内容をクイズやゲームで楽しみます。	3~6年	20人	原則 第2水曜日	図書室		○
	三鷹アストロクラブ	天文クラブ	屋上で星を見たり、科学館へ見学もあります	全年齢 (保護者付添要)	制限なし	※予定表を注意してみてください	理科室等		○
	竹工作クラブ	竹工作	親子でサンデー竹工作教室 竹トンボ・箏笛・竹簞など	全年齢 親子参加	20人	毎月 第3日曜日	理科室	必要に応じ材料費	○
	こども理科教室	科学あそび	科学的なものを見方を深める実験遊び	全年齢	25人	第3 または第4土曜日	理科室	必要に応じ材料費	○
	囲碁クラブ	囲碁	テレビゲームを卒業して、友達と囲碁で脳トレを楽しもう！	全年齢	制限なし	毎週火曜日 ※「囲碁を楽しむ会」企画	算数教室		○
	親子囲碁サロン	囲碁	大人と子どもと一緒に囲碁を楽しめます！	全年齢 保護者	制限なし	原則第一日曜日	算数教室		○
	ソフトバレークラブ	ソフトバレー	痛くないボールを使って、マナーを学んで楽しみます	4~6年	30人	水曜日	体育館		○

<1学期 限定クラブ>

	和太鼓クラブ	和太鼓 民舞	日本各地のお祭りに古くから伝わる太鼓や踊りの練習をします	4~6年	15人	金曜日 ※5~7月まで活動	体育館		○
	中本体操クラブ	機械体操	マット運動と跳び箱で、体育の技より、少し難しい技の習得	1, 2年	20人	土曜	体育館	保険代	○
				3~6年	30人	土曜 ※5~7月まで活動			

<3学期 限定クラブ>

	四小マラソン部	マラソン	3月の立川シティマラソン出場に向けて3学期に練習します	3~6年	制限なし	未定 ※2学期にエントリーの受付をします。	西園グラウンド	エントリー料金	後日 申込み
--	---------	------	-----------------------------	------	------	-----------------------	---------	---------	--------

イ 主なクラブ活動

「四小きらめきクラブ」では、第四小学校の支援の下、地域の方が指導者を務める17のクラブ活動と校庭開放を行っています。

クラブ活動は、平日の放課後に行う「ハングルくらぶ」、「ソフトバレークラブ」などの他、土曜日には、「体操クラブ」、「こども理科教室」、日曜日には「親子囲碁サロン」、「竹工作クラブ」、「三鷹アストロクラブ」(天文クラブ)を行っています。

クラブ活動は、地域の方が子供に指導したい活動プログラムを学校と「四小地域子どもクラブ実施委員会」に申し出て、承認されれば、クラブ活動の運営が任せられます。「四小きらめきクラブ」では、学校や多くの地域の方が子供たちのために力を貸してくれるので、安定した活動を維持しています。

(2)「こども理科教室」

ア 「こども理科教室」

「こども理科教室」は、「三鷹科学あそびの会」が実施しています。「三鷹科学あそびの会」は、三鷹市社会教育会館主催「子ども科学あそびボランティア養成講座」の参加者が平成20年2月に立ち上げました。

夏休みを除き、毎月1回、土曜日の午後2時から午後3時30分まで、小学2・3年生と保護者を対象に科学的なものの考え方を育てることを目的に行われています。また、土曜日を開催日にした理由は、理科教室を会場とするため、平日では授業があり理科室の使用が難しいこと、指導に当たる「三鷹科学あそびの会」の中に平日では仕事があり都合がつかない方もいること、保護者にも参加してもらいたいという思いがあることなどが挙げられます。

平成25年度「こども理科教室」

4月	「たのしい・おいしい☆浮力の実験(アルキメデスの原理)」
5月	「ブーメランと紙飛行機を飛ばそう」
6月	「むらさきキャベツの七色変化」
10月	「電気のちからってすごい!! スチロールカッター作りと彫刻にチャレンジ!!」
11月	「メビウスの輪であそぼう」
12月	「大気圧って知っている?」
1月	「ちりめんモンスターを探せ」
3月	「シャボン玉のサイエンス」

イ 「ジシャクとサテツで遊ぼう

~ちょっとだけ動くスライムづくり

6月28日(土)の「こども理科教室」は、磁石の基本と磁石が生活の中でどのように使われているかを知る実験でした。小学2・3年生13名と保護者が参加しました。

子供たちの指導を行ったのは、「三鷹科学あそびの会」の玉木満優子さん。玉木さんには小学2年生と幼稚園年長のお子さんがいらっしゃいます。

まず、磁石と釘を使って磁力の観察、磁石と砂鉄を使って磁力線を観察しました。磁石は、棒磁石、丸磁石の他「ネオジム磁石」を使い、玉木さんは、子供たちに「ネオジム磁石は、世界で一番強力な磁石」であり、「日本人が作りました」と紹介しました。

動くスライムづくりでは、水量を正確に測るためにスポイトの使い方を練習してから、フィルムケースに水、砂



鉄、洗濯のりを入れてスライムを作りました。スライムをセルロイドの下敷きの上に置き、磁石で動かしてみました。

最後に、電池、磁石を使ってモーターを作りました。電池と磁石をつなぐ導線を持っていると次第に熱くなることから、この原理が「日常生活の中でもクッキングヒータに使われている」ことや「発電に磁石が使われている」ことを子供たちは学びました。



ウ 「三鷹科学あそびの会」の方々のお話

代表の石村 巽(ゆずる)さん(医師・慶応義塾大学名誉教授)は、「四小きらめきクラブ」に関わったきっかけについて、「三鷹市子どもコミュニティ運営委員会」に委員として出席した際に、クラブ活動の中にサイエンスに関する活動が少ないことに気づき、「四小きらめきクラブ」で実施することになりました。子供たちはテレビや教科書等から知識や情報を得ていますが、身近な自然や生活の中で、ものごとを自分の目で素直に眺め、自分の手に取って「どうしてだろう」と考えることが大切だと考えています。そのことが、科学的なものの考え方であり、実験や観察を通じて育てることが大事だと思えます。」と話してくれました。

その他のの方々からも「ベンチャー企業を経営していますが、今の時代、5年から10年で科学技術が変わっています。世代が違えば、関心も変わりますが、科学の発達とどう向き合えるかは同じ課題です。ここでは、子供たちやいろいろな世代と関わるので視野も気持ちも広くなり、仕事にも生かれます。」「子供たちには科学に興味を持ってもらいたいし、理科嫌いになってほしくないと思っています。」など熱い思いを語っていただきました。



当日参加した「三鷹科学あそびの会」のメンバー

この日、指導にあたった玉木さんは、「仕事をもっているのです、土日でない活動は難しいです。「こども理科教室」では、工作や遊びも入れて、子供たちをあきさせないように工夫しています。日常子供と接している親だから、子供の目線が分かるので、実験を2時間続けても子供たちはあきなかったのだと思います。この活動の中で、子供たちが何かを発見し、自分で工夫してみようと考えてくれればと思っています。」と話してくれました。